

Wireless Thermometer MODEL : RT-100

INSTRUCTION MANUAL

総合計測器メーカー

株式会社 **カスタム**

〒101-0021 東京都千代田区外神田3-6-12
PHONE 03(3255)1117 FAX 03(3255)1137

CUSTOM CORPORATION

No. 6-12 Sotokanda 3-chome,
Chiyoda-ku, TOKYO, JAPAN 101-0021

CUSTOM CORPORATION

このたびは、当社の無線温度計をお求めいただきましてまことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

なお、お読みいただきました後も、この取扱説明書を大切に保存されることをおすすめします。

安全にご使用いただくために

本器を安全に、未永くご使用いただくために、以下の事項をお守りください。
本文内の ⚠ (危険) は、使用者が感電事故等を起こす可能性を避けるための記号です。また、⚠ (警告) は、本器を長期間にわたって損傷を防ぎ良好な状態でご利用頂くための記号です。

⚠ 危険

損傷や火災事故防止のため、電子レンジなど、マイクロ波加熱炉での温度測定は絶対に行わないでください。

⚠ 危険

電池は、幼児の手の届かない場所で交換、保管してください。万が一、飲み込んだばあいは直ちに医師に相談してください。
また、使用済の電池は直ちに破棄してください。電池を加熱すると破裂する恐れがありますので、絶対に火の中へ入れないでください。

ご使用上の注意

冬季間の室外での使用は、本体の温度低下により応答速度が遅くなる場合があります・暖房器異などの周辺でのご使用は、本体のプラスチック部の変形・故障の原因になったり、電池の消耗が常温での使用に比べて早くなります。

直射日光のあたる場所でのご使用、夏期の車内での放置はやめてください。
極端な温度変化のある環境でのご使用は、結露の原因になりますので、注意してください。

この無線温度計は、同一の場所に於いて2組以上同時に使用することは避け
てください。

混信を起こしデータが正しく表示しないことが有ります。

防水について

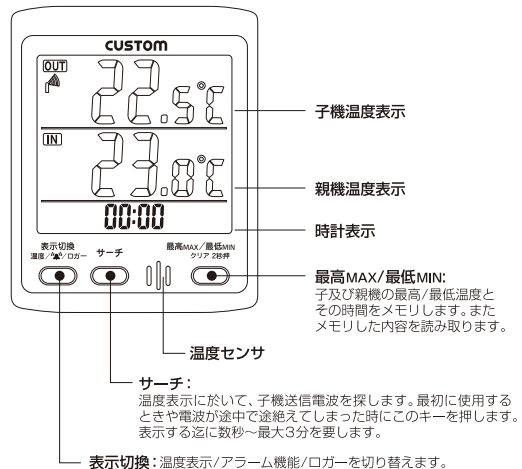
子機は防滴構造ですが、親機は防滴構造ではありません。屋外での測定時の雨、雪などの天候のとき、あるいは、フールなど、水がかかりやすい場所での測定時は、本器の防水には十分注意してください。

1. 特長

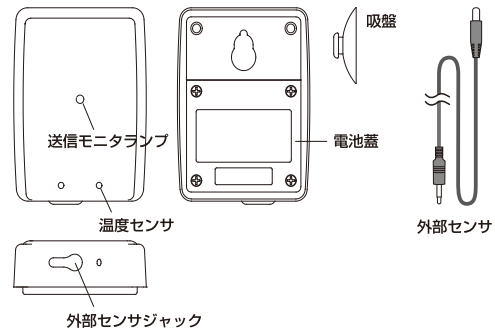
- 大型で見やすい液晶表示。
- 親機、子機のセンサで測定したデータを、親機で同時に表示します。
- 子機は無線で測定したデータを親機に送りますので、別室や離れた場所に設置でき大変便利です。
- 24時間表示の時計機能付。
- 現在時刻から過去12時間の温度を自動メモリ(毎時30分毎)し、参照できます。
- 温度測定中の最大値、最小値とその時刻を常に自動的に更新し、メモリします。
- 子機は空中の温度を測定できますが、付属の外部センサの使用により水中や土壌の温度も測定が可能になる優れものです。
- 子機での温度測定時に設定温度以上、又は以下になった時、アラームが鳴るように設定が可能です。

2. 各部の名称

●親機



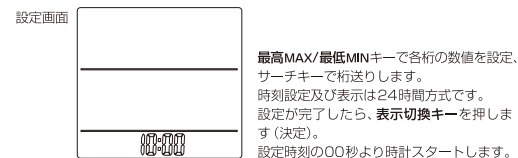
●子機



3. はじめに

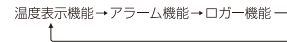
- (1) ご購入後、使用される前に電池を親機、子機にそれぞれ入れてください。
電池を入れる場合、親機の電池を最初に入れ、次に子機を入れてください。
電池の入れ方は、「電池の交換」の項を参照してください。
- (2) 親機及び子機の電池を入れ終わったら親機の表示を確認します。
子機温度表示部、親機温度表示部に各温度表示がされれば準備完了です。
もし、子機温度表示部に温度表示がされない場合はサーチキーを押し、数分間待ってください。
- (3) 時刻設定
温度表示の確認ができたなら時刻設定をします。
時刻設定が無いとロガーや最高/最低温度メモリの機能が正しく動作しません。次の手順で時刻を設定してください。

表示切換キーを3秒以上押し続けると、時刻設定モードになります。



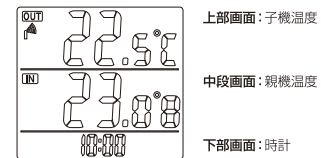
4. 使用方法

- (1) 表示切換キーによる各機能の選択ができます。
表示切換キーを押すと次に示す各機能が選択できます。



●温度表示

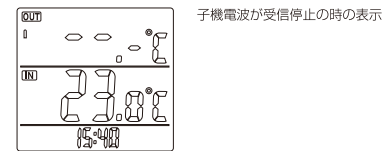
通常はこの状態で使用します。子、親機の温度表示します。



【ご注意】

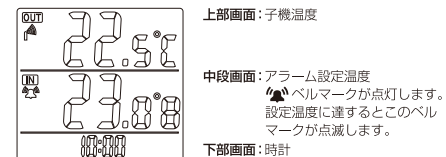
子機からのデータの送信が3分に一回です。従って、子機の表示更新は3分毎になります。親機温度の表示更新は10秒毎です。

アンテナマーク、子機の電波が正常に受信中はフラッシングします。フラッシングが停止の時は、子機の電波をサーチしている時です。アンテナマークが 1 の状態のときは電波が途絶えているか、受信機能が停止している時です。サーチキーを押し、子機電波の受信を行ってください。



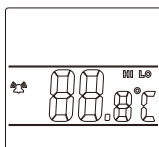
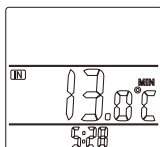
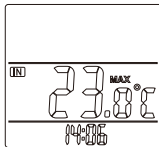
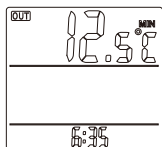
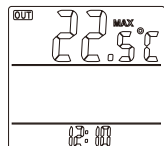
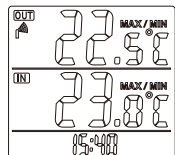
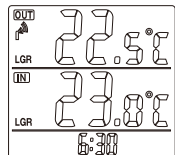
●アラーム

子機温度に対してのみアラーム温度を設定できます。設定温度以上(HI)又は設定温度以下(LO)に達したらブザーを鳴らします。アラームの設定は「アラーム設定」の項を参照してください。



●ロガー（子機、親機のデータ）

通常、子及び親機の表示温度を30分毎に12時間分をロギング（自動記録）しています。この機能を選択し、サーチキーを押していくと30分毎にさかのぼりロギングされた温度を表示し、



5. 電池の交換

●電池の寿命はおおよそ1年です。親機は使用状況により（サーチを繰り返すなど）短くなる場合があります。電池が消耗してくるとそれぞれの表示エリアに **B** マークが表示されます。子機温度表示エリアに **B** マークが点灯したら子機の電池を、親機温度表示エリアに **B** マークが点灯したら親機の電池を交換してください。交換電池は単4アルカリ電池各2本です。

●親機

電池蓋を図のようにスライドさせて電池収納部を開き、極性を確認し電池を入れます。

電池を入れ終わったら電池蓋を元に戻します。

●子機

電池蓋にある4本のネジをプラスドライバーでゆるめ、電池蓋横の溝にコインなどを挟みこじ開けます。

電池を入れたら電池蓋を元に戻し、ネジを締めます。

●電池の交換が終わったらサーチキーを押して子機電波の受信を待ってください。

メンテナンス

⚠ 警告

不具合が生じたときは、弊社、または弊社代理店に修理を依頼してください。本器を分解することは、絶対にやめてください。精度の保証ができなくなります。

電池の交換のとき、濡れた手で本体内部をさわらないでください。付着した汚れは、乾いた柔らかい布、または中性洗剤を溶かした洗剤液に浸して固く絞った布で拭いてください。絞り方が不完全な布は使わないでください。

アルコールやシンナ、ベンジンなどの揮発性溶液は、絶対に使用しないでください。

6. 製品仕様